

学会発表・講演会等（演者・筆者全記載）

①第 10 回日本呼吸理学療法学会学術大会(2024. 09)

「呼吸苦が強く歩行獲得と自宅退院までに時間を要した長期 COVID-19 陽性患者の 1 例」

発表者：片倉哲也，立川雄斗，小幡加奈

②第 22 回日本神経理学療法学会学術大会(2024. 09)

「機能的電気刺激を用いた歩行練習により姿勢制御能力が改善した症例」 発表者：立川雄斗

③第 22 回日本神経理学療法学会学術大会(2024. 09)

「急性期脳梗塞による運動麻痺に対して介入時間外に神経筋電気刺激を行い屋内歩行自立に至った 1 例」

発表者：熊野宏紀，三木啓嗣

④第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会(2024. 09)

「社会背景や個人因子を考慮した介入により EBPT を実施できた 20 代女性の脳梗塞の一例」

発表者：沓間千夏

⑤第 43 回関東甲信越ブロック理学療法士学会・第 30 回千葉県理学療法学術大会合同大会(2024. 10)

「脳出血発症 5 ヶ月後からのリハビリテーション介入で神経学的所見の改善を認めた重度片麻痺症例」

発表者：片倉 哲也

⑥第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会(2024. 11)

「大腿骨近位部骨折患者における在院日数に影響を及ぼす因子の検討」

発表者：沓間千夏，天野めい，秋葉周，水谷純子，片倉哲也

⑦第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会(2024. 11)

「大腿骨近位部骨折患者における術後早期の歩行獲得におよぼす因子について」

発表者：天野めい，沓間千夏，秋葉周，水谷純子，片倉哲也

⑧第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会(2024. 11)

「大腿骨近位部骨折患者の術後早期歩行獲得を予測する機械学習モデルの開発」

発表者：秋葉周，天野めい，沓間千夏，水谷純子，片倉哲也

⑨第 13 回日本理学療法教育学会学術大会(2024. 11)

「当院リハビリテーション技術科における学術研究活動の取り組み」 発表者：片倉 哲也，三木 啓嗣

⑩第 13 回日本理学療法教育学会学術大会(2024. 11)

「経験年数の異なる指導者 2 名による新人教育指導体制への変更により得られた効果と課題（実践報告）」 発表者：三木 啓嗣，片倉 哲也

⑪第 58 回日本作業療法学会(2024. 11)

「運動器障害に対する理学療法の実際重度左半側空間無視を呈した脳卒中患者に対して右視野遮断装具を用いた介入により、左側への注意が促通された症例」 発表者：栗原拓海，秋葉周

⑫第 58 回日本作業療法学会(2024. 11)

「作業療法士の病棟配置が入院患者の退院時 ADL 能力に及ぼす影響 — 傾向スコアマッチングを用いた後ろ向きコホート研究 —」 発表者：秋葉周，濃沼政美

⑬第 77 回済生会学会(2025/02)

「重度左半側空間無視を呈した脳卒中患者に対して、右視野遮断装具を用いた介入により、左側への注意が促通された症例」 発表者：栗原拓海

⑭第 59 回日本理学療法学術研修大会(2024. 06)

「グループワークおよび症例検討（基礎理学療法） ヒトを対象に運動障害のメカニズム／運動療法の効果について調べる実験研究(ファシリテーター)」 講師：三木 啓嗣，青山敏之

⑮第 22 回日本神経理学療法学会学術大会(2024. 9) 座長：三木 啓嗣

⑯第 29 回日本基礎理学療法学会学術大会(2024. 10) 座長：三木 啓嗣

論文・著書等

①Journal of physical therapy science 36 (6) 2024.06

「Factors influencing the prognosis of patients with acute cerebral infarction who received usual care: a multicenter prospective cohort study.」 著者：Hirofumi Sato, Shinsuke Okawa, Reina Kakehata , Asuka Takayama, Katsunobu Okuma, Kazuhiro Fukata, Hiroshi Miki, Yohei Kobayashi, Koki Hasegawa, Tadamitsu Matsuda, Yuji Fujino